

NEWS ALERT



コーテックの新しいデモ ビデオ! コーティング膜の硬化の確認方法



現場でコーティング製品を塗布して、放置時間を置いた下塗り被膜が十分に硬化したかを知りたいと思ったことはありませんか？
コーテックの最新のデモ ビデオでは、コーティング剤が硬化したことを確認するため、溶剤を使用した簡単な摩擦テスト方法を紹介しています。

この短いビデオでは、コーテック社のテクニカル サービス マネージャーの リック・シャノンが、溶剤を使用した摩擦テスト方法を説明しています。コーテック VpCI®-395 水溶性エポキシ・プライマーでコーティングされたパネルを使用し、摩擦試験を行い、この方法を実証します。手袋をはめて、溶剤 (MEK) を浸み込ませたウエスでパネルを 25 回前後こすります。コーティング被膜が剥がれたり、色褪せたりしないかを確認します。リックは、コーティング膜に損傷を与えずに、溶剤での摩擦試験を行い、コーティングが完全に硬化し、上塗り用のコーテック・コーティング剤を使用できる事を確認しました。

プライマーなどの下塗剤にトップコート塗布する際に、コーティング剤が完全に硬化し、十分な接着性を得られる事はコーティング作業を確実に進めるために大変重要です。良好な接着性がなければ、コーティングは簡単に欠けたり剥がれたりし、金属の腐食性要素を増加させ、コーティングによる腐食保護を台無しにします。限られた作業時間や、寒い天候やその他の状況の中、上塗りコーティングする前に、どれくらいの時間を待つべきが分からない場合は、溶剤による摩擦テストにより硬化状態を簡単に確認できます。次の現場で、溶剤 (MEK) 摩擦テストを行う必要がある場合はビデオをご覧ください。

: <https://www.youtube.com/watch?v=NrdAQiS77uk>

Keywords: coating failure, Cortec demo video, how to check coating cure, coating adhesion, good adhesion, how long should you wait before recoating, Cortec, Cortec Coatings, MEK solvent rub test, corrosion protection

コーテック防錆製品に関しては日本国内唯一のコーテック社認定テクニカルアドバイザーへご用命ください。



株式会社ネクサスCT
TEL : 045-353-8337
FAX : 045-353-8338
cortec-hp@nexus-ct.co.jp
<http://www.nexus-ct.co.jp>
この資料は 株式会社ネクサスCT が翻訳しています。

Cortec® Corporation is the global leader in innovative, environmentally responsible VpCI® and MCI® corrosion control technologies for the Packaging, Metalworking, Construction, Electronics, Water Treatment, Oil & Gas, and other industries. Headquartered in St. Paul, Minnesota, Cortec® manufactures over 400 products distributed worldwide. ISO 9001 and ISO 14001 Certified, and ISO 17025 Accredited.

